



明峰

令和8年6月18日

第7号

校長 岡野利男

※犬塚さんからの贈りもの

今回は、雪柳

・ヒペリカム

・バラ です。

いつもありがとうございます。



いってん とっば ぜんめんてんかい
一点突破、全面展開

家庭と学校で手を組みたいこと!!

去る13日(土)・14日(日)で、諫早市中学校総合体育大会のほとんどの競技が終了しました。思い通りの結果を収めたチームがあれば、思いもよらぬ敗北を喫した人たちもいます。コツコツと積み重ねてきた努力が実を結んだことを実感する者がいる一方で、神様はいるのかという思いにさえる者がいる。それが、スポーツ選手に訪れる「結果」ということだと思っています。

あなたは、あなたが経験したことであってつくられていく

今週の校長室前黒板に記した生徒向けメッセージの一節です。勝利も、敗北も、コートやフィールドに立てなかった悔しさも、あるいはそれぞれの事情でスポーツに携わらなかった人も…すべて、この中総体の結果を、自分自身に訪れた「経験」と受け止めてほしいと思っています。保護者の皆様にも、それぞれの内容・形で、お子様への励ましをお願いしたいと思うのです。そして何より大切なことは、ここから『再出発』するということです。

本日、各学年生徒の生活状況について確認する会議が開かれました。

○学校に不要な物を持ちこんでいる生徒がいる。

○人の嫌がる呼び方をわざと用いる生徒がいる。

○身の回りの整理ができておらず教室が汚い。

OSNS上で他者の情報を勝手に発信している。等々、様々な課題が上がったところです。もちろん、この会議自体が【現時点での問題点】を整理することに目的がありますから、明峰中生の生活全般が乱れているわけではないことはお断りしておきます。全般的には、穏やかで前向きな学校生活です。ただし、6月という時期は、生徒の中に“中だるみ”が起きやすく、どの中学校においても何らかの問題行動が起こりやすいことで知られています。

だからこそ、家庭と学校とでがっちりとスクラムを組んで、何か一つのことに取り組んでみるということをやってみたいと考えました。その一つのことを突破口として、さまざまな問題が山積する現状に風穴を開け、好循環を生み出したいと考えます。

標題のとおり、「一点突破、全面展開」を目指します。その“一点”=家庭と学校で手を組む一歩として、校長である私から各御家庭へのお願いです。

子供たちの上履きを適切、且つ、清潔に保つ。

このことに学校と共に、取り組んでいただきたいのです。下のア～ウの写真をごらんください。

ア



イ



ウ



ア、イ、ウのいずれについても、もはや解説の必要はないかと思います。「ウ」については白黒印刷ではその汚れ具合(我々世代は、「煮しまり具合」とも言っていました…(-_-;))

が分かりにくいですが、相当なものです…。

この上履きについて、

①適切なサイズのものを履く。

②毎週、必ず清潔にしておく。 この2つを家庭と学校とで努力する「一点突破」に掲げます。

学校側からは、生徒会組織である「生活環境委員会」の働きにより、毎週金曜日の持ち帰りを徹底したいと思います。御家庭においては、まずお子さんのシューズを確認いただき、必要ならば購入願います。さらに、「**自分のシューズを毎週自分の手で洗う**」ということに愚直に取り組ませたい。そうすることで、何かが変わってくるように思います、いや、きっと何かが変わっていきます。「小学生じゃあるまいし」という声が聞こえてきそうではありますが、小さい頃にできていたことが大人になってできなくなる。そんなことが私たちにありますよね。

家庭と学校で取り組む、一点突破、そして全面展開!! ぜひ頑張っていきたいと思います。